

産業廃棄物処理実績報告書【処理施設】紙報告 記入要領

1 基本事項

(1) 対象期間

前年度4月1日から3月31日まで

(2) 対象となる産業廃棄物及び報告書の区分

対象期間内に、広島市内に設置した産業廃棄物処理施設で、自己の産業廃棄物を処分した実績が、この報告の対象となります。

(3) 各種コードの記入方法

別紙コード表を参考に、記入してください。

(4) 実績がない場合

実績がない場合は、余白部分に「実績なし」と記入して、必ず報告してください。

2 記入上の注意事項について

(1) 報告者の住所等

報告者の住所、氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）及び電話番号を記入してください。

(2) 事業場の所在地

産業廃棄物処理施設を設置している事業場の所在地及び電話番号を記入してください。

(3) 産業廃棄物処理施設の種類の等

「産業廃棄物処理施設の種類」及び「処理した産業廃棄物の種類と年間処理量」については、「処理後の産業廃棄物の処分量」の欄の「種類」及び「処理方法」ごとに、それぞれ別の行に記入してください。

(4) 産業廃棄物の種類及びコード

産業廃棄物の種類は、別紙1の「産業廃棄物の種類コード」の区分に従い記入してください。

(5) 年間処理量

必ず、トン単位で小数点以下3桁まで記入してください。小数点以下がない場合でも、小数点以下は必ず「000」を記入してください。（例：15 t 15.000 t）

処分量を体積（立方メートル）で管理している場合は、別紙の「換算係数」を用いて、必ずトン単位に換算し記入してください。

(6) 処理後の産業廃棄物の処分量

- ・ 設置している産業廃棄物処理施設が中間処理施設であり、当該中間処理により産業廃棄物が発生した場合に記入してください。なお、中間処理により売却・再利用等が可能となった場合は、その旨を種類の欄に記入してください。
- ・ 「種類」及び「排出量」は、中間処理により発生した産業廃棄物の種類及び排出量を記入してください。
- ・ 「処理方法」は、自社処理又は委託処理の別及び処理方法を記入してください。
- ・ 必ず、「処分量」＝「排出量」となります。

(7) その他

記入漏れがないことを確認のうえ、提出してください。